

保護者各位

大規模地震の際の児童の待機と引き渡しについて

帝塚山小学校

本校においては、児童が在校中に奈良市で震度 5 弱以上の地震が発生した場合、児童の安全を最優先するために、保護者の方による児童の引き取りを原則とします。

保護者の方々には、児童の待機と引渡しに関する以下の事項について十分ご確認いただき、ご協力をお願いいたします。

【待機と引き渡しに関する判断基準】

震度 5 弱以上の地震が発生（奈良市において）

- ・保護者が引き取りに来るまで、児童を学校に待機させ保護をする。
- ・交通機関等の混乱などにより、保護者への引き渡しの時間がかかる場合も、保護者が引き取りに来るまで、児童を学校に待機させ保護をする。
- ・Biz 安否確認・一斉通報システムで、学校および児童の状況を連絡し、児童の引き渡しができるように対応する。

震度 4 以下の地震が発生（奈良市において）

- ・帰宅経路等の安全確認の後、原則として児童を下校させる。
- ・通学区間の交通機関等に混乱が生じるなど帰宅困難が予想される場合は、学校から保護者に連絡し、安全に帰宅できるまで学校に待機させることがある。
- ・保護者から児童の学校での待機を求める連絡があった児童については、学校で待機させ、保護者の引き取りを待つ。

【児童の引渡しについて】

- ①一斉メールもしくは Biz 安否確認・一斉通報システムでの連絡が可能な場合は、上記の判断基準に則り、引き渡しと待機についての連絡をする。
- ②連絡が不可能な場合は、上記の判断基準に則り速やかに学校が対応する。

【引き渡しの手順について】

- ①原則として、児童の各教室で引き渡しを行う。但し校内での引き渡しが不可能な場合は、

安全と判断した待機場所で引き渡しを行う。

②引き取りをされる方は、「入構証」、「緊急時児童引き渡しカード」を持参して来校する。

保護者の引き取りが不可能な場合は、代理人がカードを持参して来校する。

③学校保管の「緊急時児童引き渡しカード」と照合の上、申請されている引き取り者であると確認できれば児童を引き渡す。

*学園内の他の学校に兄弟姉妹がいる場合は、それぞれの学校で待機し、引き渡しを行う。

*代理人が「緊急時児童引き渡しカード」を持参できなかった場合は、カードに記載された代理人本人であることを証明できる免許証・保険証などを提示していただき照合する。

【下校途中での被災（原則として震度5弱以上）について】

①担任が下校指導中であれば、児童を連れて学校に戻る。

②駅で解散後に被災した場合は、所在安否を保護者が学校に連絡する。

③教員を移動が可能な各駅へ派遣できる場合、待機児童を連れて学校に戻る。

④途中で交通機関がストップしている場合で、学校に戻ることが可能な状態であれば、戻ってくる約束を事前に児童にしておく。

⑤保護者の方が迎えにいった先で本校児童が帰れずに待機しているようであれば、その状況を学校に連絡していただきたい。

☆「緊急時児童引き渡しカード」提出についてのお願い

◎児童の学校での引き渡しを迅速に間違いなく行うために、「緊急時児童引き渡しカード」の記載と提出をお願いします。

◎2部ありますが、1部は学校への提出分、1部は保護者の方の控えとなります。

◎保護者控え分は、複数枚コピーしていただき、代理人の方やご両親で保管しておいてください。カードがない場合、いざという時に引き取りに手間取ることになります。

◎記載していただく代理人には、必ず事前にご了承をいただいて、引き取りの手順について説明しておいてください。

◎学校保管の「緊急時児童引き渡しカード」は、個人情報に記載されていますので、学校で責任を持って管理いたします。

◎「緊急時児童引き渡しカード」に変更が生じた場合は、速やかに訂正内容を担任にご連絡ください。